

# 表紙のモデル

後ろ姿もキュートです



## 子育て木馬(こそだてきんま)

製作地: 福島県

寸法: (幅) 1.0cm (奥行) 2.5cm (高さ) 3.3cm

子育て木馬は、安産や子どもの健やかな成長を願う縁起物の小さな木馬です。福島県三春地方の「三春駒」として、ご存じの方も多いのではないでしょうか。黒字に赤の彩色が特徴的で、かつては寺社に奉納したり神棚に飾ったり、小さなものを袋に入れて身につけるということをしていたようです。また、馬の出産直前に、馬頭観音などに供えられていた木馬を借りて厩に飾り、出産が無事にすむとそれを二つにして返すという習俗もありました。

### バックヤードのひとこま

白熱のOTAKU製作会議



展示室一斉点検、よーいどん!



腰がちよっとツライ(?) 本館の新キャラクター



東北学院大学博物館 情報誌

# OTAKU みゆーしあむ

オタクな展示、お宅にいかが?

### タイトルの由来

東北学院大学博物館が開催するユニークなイベントや所蔵する“ちょっとマニアック?”な資料を紹介する雑誌であり、ご自宅で読んで楽しめる雑誌を目指し、このタイトルにしてみました。

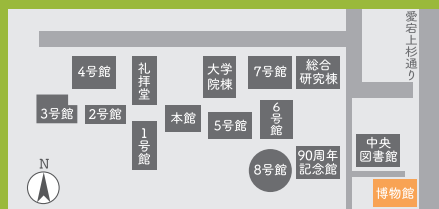
発行日 2021年9月30日

編集・発行 東北学院大学博物館

〒980-8511 宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3-1

TEL: 022-264-6920

<https://www.ipc.tohoku-gakuin.ac.jp/tgum>



- 東北学院大学土樋キャンパス内 中央図書館南側
- 地下鉄「五橋駅」下車、愛宕上杉通りを南方向に徒歩5分
- 来館者用駐車場あり(愛宕上杉通り側から)

東北学院大学博物館 情報誌

# OTAKU みゆーしあむ



オタクな展示、お宅にいかが?



実寸大



2021.8～ 博物館館園実習 中面に関連記事！

今年も、大学博物館を利用して学芸員課程の学生たちが学んでいます。恒例の館園実習も、8月2日(月)から始まりました。今年のテーマは、博物館を起点とした「まちあるきコース」の作成と、秋田出身の版画家・勝平得之の東北地方民俗版画を素材としたミニ展示の製作。成果は実習後、館内で展示紹介の予定です！



2021.5～ 西村家資料の整理

昨年度に受け入れた、市内河原町にあった商家西村家資料の保存・整理作業を、少しずつ進めています。今年度は学芸研究員のほか有志の学部学生も参加して、文書資料の仮点検と、業務用フリーザーを使った冷凍殺虫処理作業をおこなっています。これから本格的な調査整理に取りかかるところで、皆さんに公開できるまでにはいまだしばらくお時間をいただきますが、楽しみにお待ちください。



2021.3～ 動画で見る企画展「蔵品、ご開帳」  
-私ノ『推シ』ヲ紹介シマス！

前号でお知らせした企画展「蔵品、ご開帳-私ノ『推シ』ヲ紹介シマス。」の動画配信を、3月末から始めました！。2020年度に当館学芸研究員を務めたスタッフが、新型コロナウイルス感染防止のため現在ご来館いただけない学外の皆様に向けて、心を込めてイチオシ資料の展示解説をしています。ぜひ、下記のURLをのぞいてみてください。

<https://www.ipc.tohoku-gakuin.ac.jp/tgum/kikaku2020-12.html>



QRコードでアクセス！

Check! 館内でもテーマ展開催中！

館内では、ほかに様々なテーマの展示をおこなっています。歴史学科菊池ゼミ(日本近世史)が毎年おこなっている仙台市宮城野区新浜地区のフィールドワークの成果展示では、今年は仙台市沿岸部の近世～近代の石碑や、新浜における地名の変遷についての調査成果などを紹介しています。七海ゼミ(日本中世史)の「中世の霊場と信仰-松島の世界 雄島海底板碑群-」、辻ゼミ(考古学)の「古墳を旅する」などの常設展示も、新しい知見を加えながら少しずつ更新を続けています。



2021年9月現在、コロナ対応のため学外者のご見学はできませんが、今後状況が改善し次第一般公開を再開しますので、もう少しだけお待ちください！

NEW! 新スタッフが加わりました！

4月から新たに大学院生となった6名のメンバーが学芸研究員として、また本学歴史学科(民俗学)の金子祥之先生が学芸員として、博物館のスタッフに加わりました。学芸研究員の6名は、本紙の企画や「まちあるきコース」の開発やらにさっそく活動中！個々のメンバーについては、本号と次号の特集記事で紹介する予定です。



博物館 小道具辞典 第1巻

**バキュームリフター (通称:吸盤)**  
展示パネルやアクリルケースを傷つけずに取り外すときに大活躍！

下に吸盤がついてるよ！

ぐぐっと持ち手をにぎるのがポイントなのだ

ドゥー ドゥー

**ビシッ**

何が資料だろう？

なが〜い資料をビシッと見やすく！

これが学芸員の必須アイテム！

**シヤキ**

**卦算(びるん)**  
使い方は文鎮そのもの。シワや折りグセのある紙の資料を、まっすぐ伸ばして展示するときには不可欠！

しりとりに つなぐ...?

提供  
東北学院大学博物館  
4コマ漫画制作部

※SMMA(仙台・宮城ミュージアムアライアンス)加盟館では、「しりとりにつなぐミュージアム」というコラムを市政だよりに掲載しています。

おつ やつて ゃつて ゃつて

ん...?

SMMA加盟館で市政だよりにコラムをのせるんだけど、「しりとりのリレー」形式で博物館の特徴ある「モノ」を紹介するんだって(๑)

と、言うことで、うちの博物館で紹介する資料名、リストアップしておこう！

エッセルにまよめてね

うん うん

しりとりに なつらん...

意味わかってるのか？

かんじょう うちこぶん  
こうわ  
もっかん  
けさん

☆漫画もいけちゃう博物館!?次号もお楽しみに!

# TGUMチャンネル

## 【発見】大学周辺を歩いてみた【町あるき】



普段何気なく過ごしている大学界限。学芸研究員が歩いて見つけたモノとは…!?

結構長い通勤ルート?!

朝型人間じゃー!

若い世代も増えて、ますます賑わうエリア!

趣味は80年代ポップス

### 4 芭蕉の辻コース 仙台城下の 基点と金融街

仙台城の大手門からのびる大町通と奥州街道が交差する辻です。ここを基点に仙台城下の街割がなされ、1600年代初めに関東の商人が道沿いの建物の一角を借りて「棚売り」を行っていました。明治に第七十七国立銀行が設立し、周囲には戦前にかけて保険会社や証券会社が設立しました。現在も金融街の名残が見取れます。

福澤光稀 (ふくさわみつぎ)  
専攻:民俗学

### 5 荒町コース 時代が融け合うまち、 荒町

土樋キャンパスより東へ向かうと荒町があります。この町は伊達政宗が仙台に入部する以前より伊達氏に付き従っていた「御譜代町」のひとつでした。現在の町の様子を見てみると、由緒のある寺社や懐かしい商店街の佇まいを目にすることができます。その一方で近年では多種多様な新しいお店なども登場し、時代とともに変化する町の姿を体現しているといえるでしょう。

愛宕神社から仙台都心部を眺めよう!

あだ召は「けんちゃん」

大友 健太郎 (おおともけんたろう)  
専攻:考古学

### 1 仙台市博コース 柴田外記の 通勤ルート!?

仙台藩重臣・柴田外記の屋敷があった東北学院大学から南六軒丁、片平丁を通り仙台城へ。丁(=武家屋敷の並ぶ町)の名の通り、コースの途中には原田甲斐や茂庭周防などの重臣たちの屋敷跡が数多く並んでいます。柴田外記もこの道を通って仙台城に通勤していたかも…!?

見どころは片平丁の道筋に約250mに渡って築かれた石垣。築かれた時期によって形や大きさが異なっているので要チェック!



### 3 学都仙台コース キャンパスであやかる?!

東北学院大学と、東北大学のキャンパス内を散策するコースです。このコースには、身近な建物が実は文化財だった!という例がたくさんあります。

おすすめは魯迅像です。学芸研究員Yさんによると、中国では受験前の学生等が、ご利益にあやかるため魯迅像の鼻をよく触るのだとか……。魯迅にあやかりたいそのあなた、これを機会にぜひお鼻を触ってみては?

### 2 愛宕山・向山コース 仙台の信仰の 寄る辺コース

愛宕神社・虚空蔵院をめぐるルートです。愛宕大橋を渡ったこの地域にある向山横穴墓群は、太白区郡山にあった飛鳥・奈良時代の城柵・陸奥国府(郡山官衛遺跡)に勤務する役人等の墓と考えられています。仙台開府以降は仙台総鎮守の愛宕神社が築かれるなど、信仰の中心となります。おすすめは愛宕神社からの景色です。昔の写真や地図片手に今の風景と見比べると、いろんな発見があって面白いです。

